

授業公開シート

授業者 書き込み欄		
授業者	新谷 雅紀	
公開日	2018年10月26日 金曜日 5限	
授業場所	1年A組 教室	
教科・学年	数学・1年生	
授業内容の簡単な説明	タイトル：ランドルト環（比例・反比例 第7時／12時間）	
<p>視力検査で用いるランドルト環は、フランスの眼科医エドモンド・ランドルトにより開発された。環の数量の関係は、(環の外径):(円弧の幅):(切れ目の幅)=5:1:1となっている。視力とは2つの点を別々の点として認識できる能力であり、日本では直径7.5mm、太さ・切れ目の幅1.5mmの環を基準とし、この環を5mの距離から認識できる能力を、視力1.0としている。視力と環までの距離(環の大きさは一定)と、視力と環の大きさ(環までの距離は一定)の関係を考え、その考えを使って、実際に環を作図し、比例・反比例の理解を深める。</p>		
ねらい	※どのような見方・考え方を働かせて、資質・能力を高めたいと考えていますか？	
<p>環の大きさ、環までの距離、視力の間にある関係を考えることにより、比例や反比例の関係を理解する。</p>		
中心となる課題や問い	<ul style="list-style-type: none"> ・視力と環までの距離の関係はどうなるか(環の大きさは一定) ・視力と環の大きさの関係はどうなるか(環までの距離は一定) 	
生徒の学習活動		形態
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・視力と環までの距離との関係はどうなるか(環の大きさは一定)、視力と環の大きさの関係はどうなるか(環までの距離は一定)を復習する。 	一斉
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の課題を知る。 担任の先生が毎朝、教卓から視力検査ができるように、一人一つのランドルト環を作成する ①距離は、教室後方の黒板から教卓までとする。(距離は普通の5mではない) ②各自で視力別の環を1つ作る。(普通の視力表にはない1.3や0.05なども作成する) ・教卓から後方の黒板までの距離を測る。 ・距離が5mより遠くなるので、環の大きさをどうすればいいかを考える。 ・自分が担当する環の(外径)、(円弧の幅)、(切れ目の幅)の長さがどうなるか考える。 ・ランドルト環を作図する。 	一斉 (立ち歩き)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに本時の振り返りを書く。 	
評価の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のランドルト環の(外径)、(円弧の幅)、(切れ目の幅)を正しく導いているか、ワークシートの記述で評価する。 	

メモ欄

参観者 書き込み欄

参観者

ねらい

※ねらいにせまれていましたか？

折
り
線

学びの視点（主体的・対話的・深い学び）

※学びについてはどうでしたか？

授業スキル

良かったところ

改善した方が良いと感じたところ

感想